



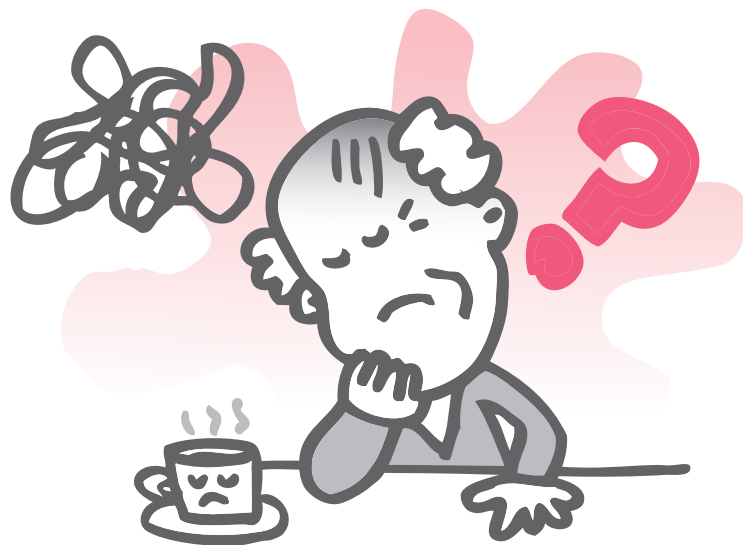
認知症と間違われやすい疾患について(前回続き)



認知症と間違われる疾患でうつ病の次に多

いのがせん妄です。あまり聞き慣れない言葉ですが、軽度から中等度の意識障害で頭が混乱した状態をいいます。軽いと少しぼーっとした感じですが、時には幻覚が加わり、興奮して大声を出したり、ひどい場合は暴れることもあります。高齢者では手術で入院とか、引越

しや施設への入所などの突然の環境の変化、服薬中の薬の影響などで起きることがあります。若い人でも大きい事故の後に起きる場合もあり、



だいたい発症が急ですが、原因を取り除くと嘘のように改善します。困るのは、急に激しい症状が起きたときで、穏やかな口調で対応し高ぶりを抑えることが必要ですが、制

御困難な場合は薬での鎮静も必要です。心は意外ともろいものです。突然の心変わりには「女(男)心と秋の空」ではなく、せん妄かもしれませんよ!



朝倉病院
理事長/院長
田辺 裕久さん